

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称: 山口ゆだ・かべり)
②活動拠点	山口市立湯田中学校(山口市児童文化センター・湯田地域交流センター)
③活動範囲	山口市立湯田中学校・小学校区、山口市内全域 等
④組織体制	36人 子育て支援員9人、保育者5人、家庭教育アドバイザー2人、地域協育ネットコーディネーター1人、社会福祉士1人、保育心理士1人、元教師3人、元大学教授1人、大学教授2人、大学院生1人、校長2人、事務職員2人、センター所長1人、主査1人、館長1人、利用者支援専門員1人、地域子育て支援コーディネーター1人、市社会福祉協議会理事1人(資格の重複あり)、地域のみなさん
⑤活動開始年度	平成28年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人 やまぐちレーテ子育て Bambini 子育て支援交流広場「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」 (TEL)083-922-4325 (E-mail)cha-cha-cha@hotmail.co.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">L</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> その他(学校内の空き教室やCSルームを使った家庭教育支援チームの活動を提案・企画・コーディネート・家庭教育支援チームの周知活動)
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 子育て中の親や子どもたちが地域の多様な世代の人々と交流することで、子育て家庭にそっと寄り添い、学びや育ち合いの機会が得られるような場づくりを実施している。

●中学校ひろばの開設(中学生と乳幼児親子・地域とのふれあい交流)と運営

毎週水曜日、中学校のCSルーム(余裕教室)に中学校ひろばを開設し、昼休みの時間(13時～13時30分)を中心に乳幼児親子や地域の方、中学生がふれ合える交流事業を実施している。(地域と未就園乳幼児親子と中学生を交流事業で繋ぐ)

・通常ひろば(毎月1回以上 必須)

あそびの交流企画以外はノンプログラムで子育て中の親子や地域のみなさんが気軽に立ち寄り、中学生との交流ができる居心地のいい空間を設け、多世代交流を実施している。

・地域子育て支援講座(毎月1回)

中学校教師や自分のスキルを活かしたい地域の方が講師となり、ひろば開催時に子育て支援講座を実施する。

(参加者は乳幼児親子と地域のみなさん・中学校や小学校で教室がしんどいお子さん・発達支援学級のお子さん等)

・乳幼児親子ふれあい教室(毎月1回)

ミドルスクール～ひろばアカデミー～ bebeクラブ・バンビclubを実施

チーム員の保育有資格者が中心となって企画する、親と子のつながり(愛着関係を育む)を大切に親子あそびと親同士の仲間づくりの交流アクティビティを0歳1歳2歳の年齢ごとに、お昼休みの中学生とのふれあい「中学生のおにいさん、おねえさんとあそぼう!!」をプログラムに組み入れて実施している。

・子育てなんでも相談

ひろば実施の日は全て乳幼児・小学生・中学生・高校生の保護者を対象とした相談対応が可能。ケースにより家庭訪問を実施している。

●「あそびの森 maru」の開設(長期休みを除く毎月第1・第4水曜日)

～地域のみなさんと子どもたちのふれあいひろば～

地域の小学校児童を対象としたあそびの体験や学習サポートの場を地域交流センターで毎月2回(全16回)実施している。(地域外の不登校児童親子参加も可)

・学習サポート(子どもたちの自主的な学習活動) 全学年

宿題をする・本を読む・さまざまな体験から学ぶ意欲を育む。

※4年生以上の子どもは、選任講師が個別で苦手なところを教え、サポートする。

学習支援が必要な子どもの特別プログラムを実施(通級クラスやレベル対応に特化)

・主体的なあそびの創造活動 1年生 2年生 3年生

作る・描く・表現するなどの文化活動や自然の中で身体を動かしてあそぶ野外遊びを通して子どもたちが主体的にあそびを発想し創造する力を培う。

・食育体験や交流活動 1年生 2年生 3年生

地域の方や専門家の方とおやつ作りによる食育体験や多世代交流・グローバル体験交流で人間関係づくりやコミュニケーション能力を養う。

・森カフェ・maruトーク(地域を越えての参加も可)

保護者がMyteaグッズ持参で月1回maruの実施日におしゃべりサロンを実施している。

教育相談の場や子育てを共有する場となっている。地域を越えて不登校児を持つ親が参加し、悩みを打ち明け合うなどピアサポートの場にもなっている。

	<p>●研修の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来教育・保育に携わる大学生や社会人の経験と体験の場として機能するようにコーディネートしている。 <p>●ミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動実施前後に、活動拠点の学校の家庭教育支援員等が集まり、情報共有や、事例検討、企画などについて話し合いの機会を持っている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内や地域交流センター内に活動の場があるということはとても効果的で、その場が地域の居場所として、子育てを支え合える場や、生涯学習の場として機能することにより、地域の中で、福祉分野と教育分野、行政と市民が連携した切れ目のない家庭教育支援の基盤ができてきている。 ・学校と地域が連携し、ある意味一体となって、地域のもの・こと・人といった環境や資源を有効に取り入れた体験活動を実践していくことで、地域の中の子育て家庭への見守りのまなざしが少しずつ増えてきており、家庭教育支援活動への主体的な参加者や協力体制が地域の中でできてきている。 ・乳幼児や学童児の親や保護者と、子育て中の先輩保護者が、CS ルームを活用したひろばや子育て Café を通して、子育ての悩みや、話したいこと、聞きたいことなど、自然に交流できる場となっており、ピアサポート効果もある。
<p>⑤活動財源</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (山口市子ども未来課地域子育て支援拠点地域支援事業・社会教育課放課後子どもの居場所づくり推進事業)</p>